

校長室だより No 2

授業改善を実行します

2023年 4月28日 柏市立土小学校 校長 梅津 健志

25日の授業参観・懇談会・PTA 総会にご来校いただき、ありがとうございました。前号で、今年、土小学校で力を入れる教育について説明をさせていただき、教育課程説明会でもその必要性について少しお話しをさせていただきました。

世の中は Society5.0、大きく世の中が変わっていくと言われています。ChatGPT という AI との出会いで、その変化のスピードを体感するところです。一方で学校教育に目を向けると、150 年前の教室の写真と今の教室の写真を見比べると、子供たちは先生の方を向き、先生が話して子供は聞く、先生の言う通りに行く、という基本的な構図に変化がなく、明治5年に近代日本国家が発出した時点から最も変化していないものが、学校教育ではないかと言われています。それを変えていこうとする流れが「教育改革」で、4年前から施行された学習指導要領にはっきりと示されています。

しかし、学校に目を向けると授業をはじめとする教育活動は、先生一人一人に任されており、誰かが方法を考えて、その方法通りに行えば、授業が変わるというような状況ではありません。150年間同じ構図だったという原因には、先生自身が自分が受けてきた授業をベースに授業づくりを行う習慣があり、保護者や地域の皆様も、自らの学校時代の様子と子供たちの様子を見比べ、同じことに安心感を感じる、という背景が考えられると思っています。

今までの方法で教育活動を時代に合わせた形に移行していくためには、授業を担当する先生一人一人に学ぶ時間が本当に必要なのが実態です。しかし、現在の規定授業時間数は、土曜日に学校を行っていた平成元年の時と同じなのです。先生たちには、授業を変えたい、子供たちを中心した授業を行いたい、という気持ちがあっても、そこに向けて新しい授業について学んだり、準備をしたりする時間は全く無いということが実態です。そういう中においても、土小学校の教員たちは昨年度1年間をかけて、土地域を教材とする課題解決型の授業を創り、柏市内のどこの学校も実現していない、1年生から6年生までの流れのある学習づくりを行いました。この学習をさらに充実させるためには、日々の授業の改善も必要です。そこで、今年は子どもたちを給食後に下校（6月以降は15:30分まで土っ子おもしろ教室開設予定）させて研修時間を確保する研修日を10日間設定しました。また、クラブ活動を地域の方々に運営していただき、その時間を研修に充てる日を8日設定し、48時間の研修時間を確保して、授業改善に取り組む体制としました。その効果や成果は2月の教育ミニ集会でお知らせします。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。